

あっぱれ 優 拍手!

頑張った人たちを紹介し、
応援するコーナーです。

中学校

■吹奏楽個人コンクール東部地区大会

金賞 マリンバ 星野真帆
〃 チューバ 奥村風葉

銀賞 トランペット 石井千晴
〃 クラリネット 山下麻里

〃 アルトサクソン 高野愛理
〃 トランペット 菅谷奈緒

■県書き初め展覧会

千葉日報社賞 藤井延佳
〃 津島由季

■年金作品コンクール

協会長賞 黒川楓

優秀賞 高橋有実子

〃 大谷美穂

入選 鈴木瞳子

一般

■第59回千葉県消防大会

県消防協会長特別功労賞 団長 椎名紀夫

日本消防協会長功績章 副団長 勝又治

〃 精績章 副団長 伊藤正美

ブタミンパワーで 元気モリモリ☆

町養豚組合から学校給食用に豚肉をいただき、1月30日焼肉、2月8日ミートソース、20日大豆入りカレーミートと野菜スープ、26日ポークビーンズとして調理されました。豚肉はビタミンB₁をはじめとする栄養がたっぷりで、子どもたちは「おいしい!」と食べていました。



正確なジャッジで試合を支える



2月10日、高校野球連盟から講師を迎えて野球審判講習会が開かれました。少年野球の指導者や保護者、町に在籍する野球チーム関係者が、審判技術向上のために毎年行っているものです。審判の大切さを胸に、参加者200人は真剣な表情で講習に臨んでいました。

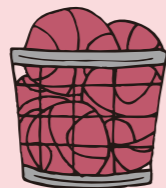
心を合わせて綱を引こう!!

香取市市民体育館で2月17日、少年の日綱引き大会が開かれ、香取郡市内の小学生16チームが熱戦を繰り上げました。多古町から参加した3団体のうち「きらめキッズ」(中村小6年生)が、熱心に取り組んだ練習の成果を発揮。息の合った「引き」で見事3位となり、メダルを獲得しました。



チーム全員でつかんだ準優勝

2月23日・24日の2日間にわたり近隣の中学校(男子7チーム・女子8チーム)が参加して、第31回多古町バスケットボールクラブ杯中学生大会が開催されました。多古中バスケットボール部は決勝で敗れたものの、男女そろって準優勝に輝きました。おめでとう!!



“ニチレクボール”に挑戦

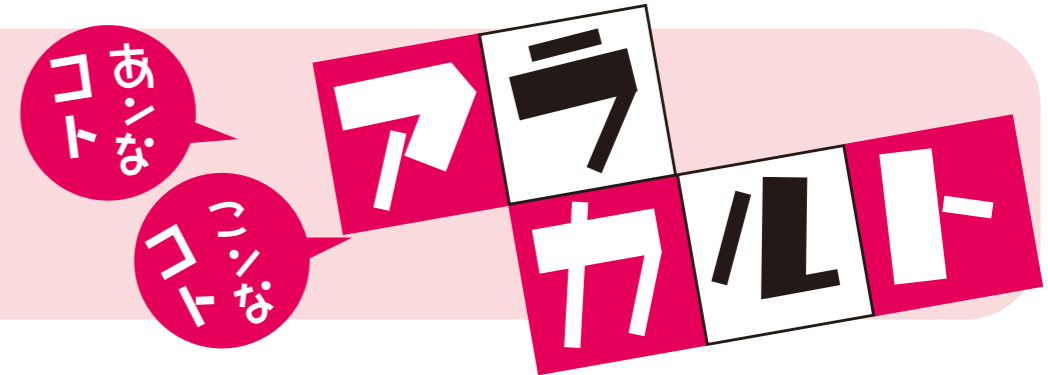
黄色い標的球に向かいボールをアンダーハンドスローで投げ、より近づけることによって得点を競うニチレクボール。各地区の老人クラブや町身体障害者福祉会から35チームが参加して2月19日、コミュニティプラザ多目的ホールで大会が開かれました。

作戦ミスやゲームの流れで思わぬ展開になることもあり、会場は大いに盛り上がりました。

【結果】 優勝 千歳A
準優勝 出沼鶴友会B
3位 出沼鶴友会A



町の出来事や頑張っているみなさんを
紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、みなさんからの
情報をお待ちしています。
〒289-2292
役場総務課広報係 ☎76-2611内線23



あきらめないことが大切—

3月1日、町社会福祉大会が文化ホールで開かれ、地域福祉に貢献された方々の表彰などが行われました。実践発表では、多古中2年の萩原菜さんと津島由季さんがそれぞれ「自分と違うからといって、いじめや差別をしてはいけない」という内容の作文を発表し、傾聴ボランティアを行う平山弘さんから「心に寄り添うことが大切」とのお話が一。多古高生徒会の皆さん(宮内翔史さん・増田智吉子さん・小林真実さん・大里留衣さん・土井芳江さん・秋葉聡史さん・郡司真緒さん)は写真映像を使い、同校100周年の歴史を発表しました。

記念講演では両足義足のマラソンランナー、島袋勉さんが自らの体験を通し「夢や希望を持ち続けることが大事。あきらめなければきっとできる」と明るく語り、会場の約600名は不屈の精神と行動力に感動しながら、熱心に耳を傾けていました。



食事と適度な運動で 適正体重をキープ

保健推進員会主催による多古町健康教室が2月7日、保健福祉センターにて開催され31名が参加しました。テーマは「適正体重を維持しよう」。管理栄養士を迎えて、内臓脂肪をためない生活へのアドバイスや、ヘルシーメニューの工夫について講義を受けました。続いて、保健推進員さん指導の下、班別に調理実習を行い試食。見た目のボリュームや満腹感の割にはカロリーが低く抑えられていることに、参加者たちは感心していました。

食べた後は、万歩計を身に付けあじさい遊歩道を元気にウォーキング。バランスのとれた食事と適度な運動の大切さを、しっかりと学んだ1日となりました。

